



KBC 九州朝日放送
PRESS RELEASE



2023年4月3日

九州朝日放送 総合編成局総合編成部

視聴率速報

2022年度 個人単独2冠！世帯単独3冠！！

九州朝日放送(株)は2022年度（2022年4月4日～2023年4月2日）北部九州地区のテレビ視聴率において、個人全体視聴率2冠、世帯視聴率3冠を獲得しました。各時間帯の平均視聴率は以下の通りです。

■個人全体視聴率 2冠 * 4年連続

06時～24時	「全日」	4.2%	1位
19時～22時	「ゴールデン」	6.1%	2位
19時～23時	「プライム」	6.2%	2位
23時～25時	「プライムⅡ」	2.5%	2位
06時～19時&23時～24時	「ノンプライム」	3.6%	1位

* ビデオリサーチ調べ（北部九州地区）

■世帯視聴率 3冠 * 5年連続

06時～24時	「全日」	7.5%	1位
19時～22時	「ゴールデン」	10.4%	2位
19時～23時	「プライム」	10.6%	1位
23時～25時	「プライムⅡ」	4.6%	2位
06時～19時&23時～24時	「ノンプライム」	6.6%	1位

* ビデオリサーチ調べ（北部九州地区）

ゴールデン・プライム帯では「報道ステーション」(7.0%)が同時時間帯1位の高視聴率を獲得し、連続ドラマでは「刑事7人」(6.8%)「木曜ドラマ・六本木クラス」(6.7%)「木曜ドラマ・ザ・トラベルナース」(7.1%)「相棒」(8.3%)が堅調な視聴率をマークしました。バラエティ番組では「ナニコレ珍百景」(6.9%)が同時時間帯2位、「ボツンと一軒家」(9.9%)が同時時間帯1位を獲得するなど、日曜ゴールデン帯2番組が好調をキープしているほか、「くりいむクイズミラクル9」(6.4%)、「ザワつく!金曜日」(6.5%)が同時時間帯1位をそれぞれ獲得し、水曜と金曜のゴールデン帯番組も好結果を残しました。単発番組では11月27日(日)「FIFAワールドカップ2022・日本×コスタリカ」(25.7%)、3月16日(木)「2023ワールドベースボールクラシック・日本×イタリア」(34.6%*歴代1位)ほか決勝戦を含むWBC4試合の中継番組が軒並み高視聴率をマークしました。全日帯ではKBC自社制作番組の「アサデス。KBC」(PART1/4.7%・PART2/8.2%)が同時時間帯1位を獲得。また後枠の「羽鳥慎一モーニングショー」(5.5%)も同時時間帯1位をマークするなど、好調な平日午前帯が全日帯を牽引しました。日曜正午の旅バラエティ番組「前川清の笑顔まんてんタビ好き」(5.6%)も同時時間帯1位を獲得し、引き続き好調をキープしています。女性お笑いグループ“ぼる塾”が出演する木曜深夜の人気番組「ぼる部屋」(1.9%)も同時時間帯1位をマーク。KBC制作の週1バラエティ番組も視聴者からの支持を得ています。

【写真】「アサデス。KBC」(左)宮本啓丞アナウンサー (右)徳永玲子

